

木山内岳桑原山ハイク～てるてる坊主効果絶大～

【報告者】Y中

【日時】H30年9月22日

【天候】曇り

【参加者】T橋（CL）、I丸、N井、Y中

《コースタイム》

7:00 美人の湯付近→9:15 矢立峠→10:40 桑原山（八本木）→12:00 万次越→13:25 木山内岳→14:00 喜平越→16:10 大崩山登山口

《報告》

T橋リーダーが11月に計画されてる大崩山を眺める縦走の下見、を兼ねている縦走ハイクへ参加してきた。

直前までの雨予報で、ほぼ中止かと思われていたが、まさかまさかの回復！

金曜の夜に出発し、道の駅宇目で前泊。I丸さんが、チーズの昆布巻きなるものを作って来られて、アイスワインと一緒に頂く。ディープな話が止まらない。

当日、どこから矢立峠への道があるのかとしばし迷いつつ、また車をどこに停めれるかと悩む。美人の湯駐車場は完全に閉鎖しており（トイレは使える・7:30位には開けに来られていた）車中泊も全く出来なくなっている。結局しばらく離れたところに車を停めた後、美人の湯の向かいの道を進んで行く。天然記念物であるモウソウキンメイ竹林を確認しながら、沢沿いからいざスタート。思っていたより踏み後もしっかりありヤブもない。とはいえ、雰囲気としてはずっと高巻きをしているように感じる。矢立峠前後はかなりの急登で息が上がる。下りだとちょっと怖い。

虫がかなり多く、桑原山ではN井さんの美意識に反しつつ防虫ネットを被っての記念撮影。その後の1170m辺りで違う尾根に入り込み、軌道修正。微妙にテープが変わっていた。その後途中小積ダキを眺め、誰か登っていないか探したりしてみる。万治越は広場みたいになっている。その後はトラバースが続く。木山内岳ピークには、個人の登頂アピール道標がたくさん！！大崩山も望める。喜平越からどんどん下って、一般登山道と合流。そこからしばらく歩いて合流地点ってどこだったっけ？と私は認識出来ていなかったが、N井さんは合流地点を確かめに戻り、満足そうな顔で戻って来られる。そのおかげでこの文が書けている。その後大崩山荘まで来て、今回初めて人の姿を見る・・・。登山口にてゴール！ではなく、車までの車道歩き約2キロ弱にてホントのゴール！

活動時間約9時間、結構な急登もあり、楽しみつつも私には中々ハードな歩きでした。先輩お三方はサクサクでした。また、今回の山行が決行出来たのは、リーダー孝太郎さんの綿密な下調べ、判断と、N井さん作のてるてる坊主のおかげです！ありがとうございました。

注意点

- ・全員ヒルにやられました！血だらけ～！ヒル除けが必要
- ・虫も多いので、虫よけ、防虫ネットを是非
- ・足場が安定しない所も多いので、スパッツ（レグカバー）を付けていないとパンツが汚れる事も多いかと
- ・残暑がまだまだ厳しく、十分な水やジェルを！I丸さんおすすめのポッカレモンは必須かも！

